● 新規購入図書紹介

図　　書　　名	著　者　／　編　集　者	出　　版
地方自治・地方行政		
水辺のSDGs まちづくりにおける水辺政策	日本建築学会	公人の友社
Q&Aで解説　会計年度任用職員制度の現行ルールと課題 地域を支える公務・公共サービスの担い手のあり方とは	川村雅則、嶋林弘一 西芳紀、晴山一穂	自治体研究社
地方議会の基本が1冊でしっかりわかる本	野村憲一	学陽書房
労働経済・労働問題		
つむぐ、キャリア 選択過剰時代のキャリアの考えかた	梅崎修，マイナビキャリアリサーチLab	中央経済社
地方財政		
地域からはじめる地方財政	八木信一、関耕平、川勝健志、金子林太郎	有斐閣
政治学・政治思想		
令和日本の政治は「感情」で動く 国会審議・街頭演説・SNS戦略	木下健 オフェル・フェルドマン	ミネルヴァ書房
民法		
改正家族法入門 これからの親権・養育費・親子交流	棚村政行	日本加除出版
教育政策・教育制度・教育行財政		
令和7年度　文部科学白書	文部科学省	日経印刷



音楽の秋



夏の暑さがやわらぎ、風や空の色に変化が出てくる秋は、音楽をじっくり楽しむのにぴったりの季節です。
通勤途中や、家でゆっくり飲み物を片手に過ごす時間まで、秋はいつもの時間に自然と音楽をなじませてくれます。
私はクラシックコンサートによく行くのですが、好きな曲や演奏家を選んで行ったりします。その中でもチャイコフスキーはお気に入りの作曲家の一人です。
チャイコフスキーは十九世紀のロシアを代表する作曲家で、バレエ音楽の「白鳥の湖」、「眠れる森の美女」、「くるみ割り人形」や「ロメオとジュリエット」で広く知られ、クラシックに興味のない人でも聴いたことのある“耳に残るメロディ”“一度聴いたら忘れられない”と言われる曲が多く、美しくて親しみやすい曲を書く偉大な作曲家です。
当時のロシアでは、音楽は食べられない職業であったため、元々法務省で働いていましたが、ロシア初の音楽院を設立後、仕事の傍ら3年あまり音楽院に通い、その後法務省を辞め、プロの音楽家としての道を歩み始めます。
チャイコフスキーの曲の好きなところは、美しく、旋律には言葉にならない感情がそのまま流れ込んでいるようなところです。
フィギュアスケートの中でも使われることが多く、私の好きなスケーターの浅田真央さんが「白鳥の湖」の曲で滑ったこともあります。
チャイコフスキーの曲の中でも私のお勧めは「ヴァイオリン協奏曲第１番」です。 華やかでいて、エキサイティングな曲です。
皆様も今年の秋は、少しだけ足を止めて、自分のために音楽を聴く時間をつくってみてはいかがでしょうか。深まる季節の中で毎日をやさしく彩ってくれるかもしれません。





